

# 三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成26年度 第1回会議					
開催日時	平成26年5月26日（月）13時30分～15時20分					
場 所	三沢市役所別館4階 第1研修室					
出席者	会 長	小渡 章好	副会長	富田 哲（欠）	監 事	宮崎 倫子
	監 事	坂本 幸子	委 員	丹藤 正人	委 員	田中 力
	委 員	小笠原 和彦	随 行	佐藤 美仁	委 員	目時 晃
	委 員	須藤 健(代)	委 員	向中野 貢	委 員	浪岡 貞蔵
	委 員	横田 渉子	委 員	大澤 裕彦	委 員	沼山 明
	委 員	中西 敬悦	ワザバー	松田 晃和		
	事務局	三沢市：山本課長、岡部課長補佐、岩織係長、川嶋主事、 千代田コンサルタント：松浦、川崎、新谷				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 委員自己紹介</li> <li>5 役員選出</li> <li>6 議 事 (報告事項)  <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度三沢市地域公共交通会議事業報告</li> <li>議案第1号</li> <li>平成26年度三沢市地域公共交通会議事業計画(案)</li> <li>議事第2号</li> <li>平成26年度三沢市地域公共交通会議予算(案)</li> </ul> </li> <li>7 閉 会</li> </ol>					
会議の経過及び審議結果（概要）						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 委員自己紹介</li> </ol>						

## 5 役員選出

事務局より、仮議長として三沢市政策財政部長 中西委員を指名。

### 【会長選出】

(中西仮議長)

- ・会長の選出について、推薦や意見がある方はご発言願います。

<主な意見>

(向中野委員)

- ・昨年に引き続き、小渡委員を推薦します。

(一同)

- ・異議なし。

【副会長選出】会長の推薦により選出

(小渡会長)

- ・三沢市商工会 富田委員を推薦します。

(一同)

- ・異議なし。

【監事選出】委員の推薦により選出

(小渡会長)

- ・三沢市社会福祉協議会 宮崎委員、三沢市連合婦人会 坂本委員にお願いしたい。

(一同)

- ・異議なし。

(配布資料確認)

(事務局)

《会議次第、出席者名簿、議案書、報告資料、三沢市地域公共交通会議設置要綱、三沢市地域公共交通総合連携計画、みーばす乗り案内、三沢市公共交通ガイド》

## 6 議事

(報告事項)

### 【平成25年度三沢市地域公共交通会議事業報告】

事務局から報告資料を説明。

<主な意見>

(小渡会長)

- ・市民にとって分かりやすくなって、存在感が出てきたという実感があると思うが、十鉄に寄せられるお客様の反応はどうか。

(小笠原委員)

- ・実証運行期間中は半年ごとにダイヤの改定を行っていたが、今のところは落ち着いており、お客様からの苦情も無く、スムーズに移行できていると感じている。今後は、乗る方が増えてくれればいいが、弊社のPR不足であると思うので、そこは力を入れていきたいと思う。

(小渡会長)

- ・あしあとランプはスタート当初に比べて、提供する情報も増え、市民へも浸透してきていると思う。

(田中委員)

- ・P17の満足度調査において、平成21年から平成25年の“満足している”が12.6%から20.6%に増加している一方で、“満足していない”という方が9.6%から20.6%に増加しているので、必ずしも良い方向に向かっているとは言えないのではないかと。具体的にどのような点に満足していないかというところを拾い上げて、それに対する検討が必要ではないかと。

(事務局)

- ・このアンケートは市民病院に来ている方を対象に行っているものなので、“満足していない”という回答の内容として診療後の帰りの便(特に午後)が1時間後であったり、時間が合わないことに対する不満というのが毎年の意見としてある。

(小渡会長)

- ・“満足している”、“満足していない”という他に、“分からない”、“利用したことがない”という結果が減っていることは、進めてきた様々な政策が市民の皆様に見えるようになってきていると言えるのではないだろうか。評価が明確に見えてきたというのはこれから繋がるので良い事であると思う。  
坂本委員意見などはないか。

(坂本委員)

- ・市民病院のモニターの設置位置が変わっていたので、分からないことがあった。

(事務局)

- ・冬場はバッテリー等の関係で入り口ではなく、売店の前にモニターを移動していた。

(小渡会長)

- ・利用者にわかりやすい様に、設置場所のお知らせを示すなど、改善していく余地はある。

(宮崎委員)

- ・あしあとランプの設置数を増やして頂きたい。
- ・アンケート調査で“満足していない”という方は、北浜方面からの利用者でバスの運行本数が少なすぎることにに対する意見も多いのではないかと。

(議案第1号)

**【平成26年度三沢市地域公共交通会議事業計画(案)】**

事務局から議案書内事業計画(案)を説明。

(議事第2号)

**【平成26年度三沢市地域公共交通会議予算(案)】**

事務局から議案書内予算書を説明。

<主な意見>

(大澤委員)

- ・P7事業費の2,287千円の増額の内訳を聞きたい。

(事務局)

- ・バス停の上屋やベンチの設置費用としての金額である。

(大澤委員)

- ・どこに設置するのか。

(事務局)

- ・市役所・公会堂 前のバス停を予定している。

(大澤委員)

- ・バスの事業者側で設置するのではなく、公共交通会議で設置する必要があるのか。

(小渡会長)

- ・本来は事業者が設置するものであるが、事業者がバス経営を行っていきける状況にないということもあり、市民の移動手段としての公共交通を行政が整備・維持を行っているという現状がある。

(大澤委員)

- ・バス停の上屋の要望は様々な場所であげられているため、設置場所の優先順位については、聞かれたときに根拠を持っている必要がある。

(事務局)

- ・上屋の設置場所については市の担当課としては、市役所・公会堂前のバス停2ヶ所を検討しているが、再度、関係課と協議をしたうえで設置場所の決定していきたい。

(大澤委員)

- ・今後も徐々に増やしていく計画であるか。今回限りの計画であるのか。

(事務局)

- ・市役所前・公会堂前については、学生のための十和田観光電鉄線代替路線バスの始発点・終点として使用しているということもあり、利用者が多く、最優先で考えなければいけないという事で選定しました。その他の整備については予算の許す限りで今後検討していきたいと思っている。

(宮崎委員)

- ・事務局旅費の使用方法を教えて頂きたい。

(事務局)

- ・先進地視察として、帯広市の見学（2名）の出張費用である。

(宮崎委員)

- ・小渡会長の交通費や旅費を見る事は出来ないのか。

(小渡会長)

- ・当初からそのような決まりとなっている。お気遣いはありがたいが、有意義に使ってほしい。経費については、当初よりもコンパクトになってきた印象は持っている。

(向中野委員)

- ・コミュニティバスの運行に関する、市から十鉄に対する補助金は幾らだったのか。

(事務局)

- ・市からのコミュニティバス補助金は、平成26年度予算では約4千万である。

(向中野委員)

- ・三沢市4万人の町でバス利用者が限られている中で、自家用車を持っている人はバスに絶対乗らないと思う。市民病院を利用している人でバス利用が増えたのはタクシー利用者からの乗り換え分くらいしかないのではないかと。バスの運行本数を増やそうが何をしようが、新規でバスに乗ろうという人は増えないのではないかと。

(小渡会長)

- ・これからは運転出来なくなる人が増えるが、その人も病院に行きたいと思った時、北浜から病院までタクシーだといくらかかるか。

(向中野委員)

- ・往復7,000～8,000円程度である。

(小渡会長)

- ・地域としてそのような方たちをどのように支えるか、将来的にはそうした人が増えてくるのは目に見えているので、少しでも負担を軽減できるような政策を取れるかが問題である。その一つには、利用者を増やす事が解決策に繋がると言えるが、それを可能にするのは「需要の創造」である。「需要の創造」とは乗りたいと思わせる工夫である。公共交通としてのバスとタクシーの関係はとても大事なので、タクシー業界の方からも是非アプローチをして頂きたい。

(横田委員)

- ・PTAの立場としては、子供が公共交通を利用することでマナー学習や移動の経験をすることができるのではないかと考える。そのため、子供が使いたいと思えるものになっているかという視点があると良いと感じる。

(小渡会長)

- ・三沢のバスに乗って「日本一うれしいバス」と言われるバスを目指したいとは思わないか。気持ちがいいから、楽しいからというところの追及は未だ手付かずの領域であり、市全体でサービスレベルの高いまちを目指して、気持ちのいいまちを作って行けば、「日本一うれしい公共交通のまち」に近づくことが出来るのではないかと。  
「うさぎバス」と「かめバス」の認知度についてはどのくらいなのかも知りたい。
- ・今年度の3月までに「日本一うれしい公共交通の町」の実現を目指して、頑張っていきたいと思います。

#### 4 閉 会